

岡山醫學會彙報

岡山醫學會通常會

同會は岡山醫科大學各科集談會と合同して本月十七日午後三時より岡山醫科大學附屬醫院臨牀講義室に於て開會し田村主幹開會を述へ直ちに左の講演に移る。

第一席 各種「ヘルペス」病原體に就て（第一回報告）

皮膚科泌尿器科教室 江原猪知郎君

- 1) 帶狀、口唇及び陰部「ヘルペス」病原體を家兎辜丸、角膜、硬腦膜下に移植し、各接種臟器に於て一定の變化の起ることを實驗せり。而して辜丸は他の臟器に比し、接種成績良好にして、其操作の簡單なる、混合傳染の恐れなく、「ヘルペス」の研究には常に必要なるものご思考す。
- 2) 各種「ヘルペス」病原體は同様に家兎角膜炎、辜丸浸潤及び腦炎を來し、其變化に依りてのみ「ヘルペス」を區別する能はず。
- 3) 「ヘルペス」病原體は確實に患者血液中に傳播せることを家兎辜丸を使用して證明せり。而して病原體接種を受けたる家兎に於て、該病原體は大約4日目に血行中に現はれ9日目に消失する事を證明せり。
- 4) 水痘病原體は恐らくは「ヘルペス」病原體と異なる病原體ならんご思考さる。若し同一病原體なりとするも極めて毒力弱きものご考へらる。（自抄）

第二席 遠藤氏培養基の好適水素「イオン」濃度に就て

細菌學教室 西田實雄君

（抄録不着）

第三席 大網乳斑の發生機轉に就て

病理學教室 濱崎幸雄君

家兎、白鼠、人體に就て胎生末期より生後2箇月迄の幼動物に就て檢索し乳斑を形成すべき Mutter Zellen の由來、乳斑の發育、四種の乳斑の分化徑路等に就て詳述せり。尙ほ詳細は追つて本誌に發表すべし。（自抄）

右終りて午後五時閉會。